

地域の“トイレ防災”と家庭の“雨水活用”を応援します！

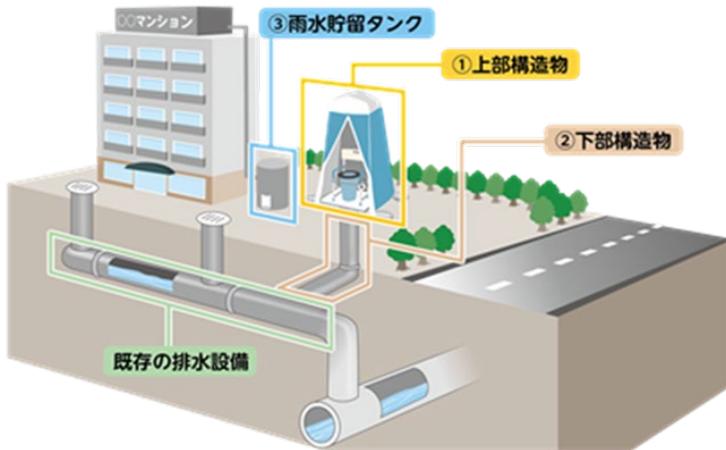
～マンホールトイレ、雨水貯留タンク、宅内雨水浸透ますの令和8年度助成金申請受付がスタートしました～

横浜市では、災害時の自助・共助を図る取組として、マンホールトイレ設置助成制度を行っています。また、水害の防止や水循環の再生強化を目的として、雨水貯留タンク設置助成制度及び宅内雨水浸透ますの設置助成制度も行っています。

令和8年4月1日(水)から令和8年度の各助成制度の申請受付を開始します。(申請受付期間内であっても、予算に達した時点で申請受付を終了します。)

① マンホールトイレ設置助成制度 申請受付期間:令和8年4月1日(水)から令和9年1月29日(金)まで

宅地内にあるますの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものです。



助成対象者

自主的な防災活動を積極的に行っている自治会町内会、マンション等の管理組合、横浜市地域まちづくり組織に基づき認定された地域まちづくり組織
※個人での申請は受け付けておりません。

助成対象

- ① 上部構造物(汚水ますの上に設置するパネル・テント、便器など)
- ② 下部構造物(汚水ますや排水設備の工事が必要な場合)
- ③ 雨水貯留タンク(容量 200 リットル以上)

助成金額

上記①～③の購入費用の10分の9を助成金として交付しています。(上限60万円)
※①、③の送料・設置費を除く

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



② 雨水貯留タンク設置助成制度 申請受付期間:令和8年4月1日(水)から令和9年2月26日(金)まで

雨どいに接続することで屋根に降った雨水を貯めることができ、貯まった雨水を災害用水やガーデニング、庭への散水に利用できます。



助成対象者

市内の建築物の所有者(個人・法人)

助成対象

以下の基準をすべて満たす雨水貯留タンク1基(連結する場合は2基以上でも可)及びその付属品(転倒防止チェーン、置台、接続に必要な部材等)

- (1)100 リットル以上の貯水容量があること。(連結式タンクも可)
- (2)既製品かつ密閉構造であること。
- (3)建築物の雨どいに接続すること。

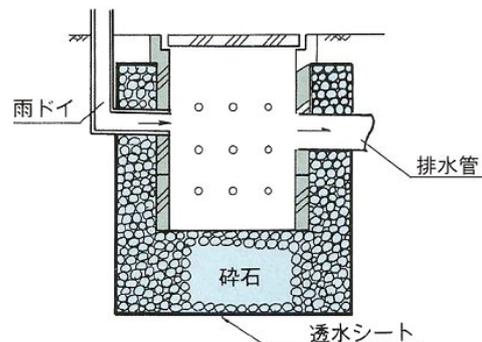
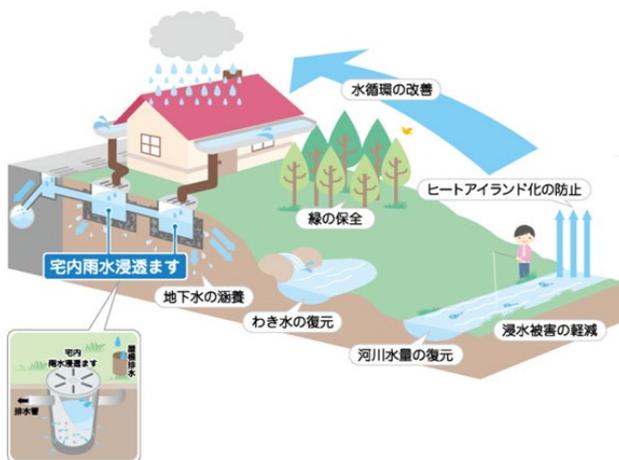
助成金額

購入価格の2分の1(上限 2 万円)※送料・設置費は対象外

③ 宅内雨水浸透ます設置助成制度 申請受付期間:令和8年4月1日(水)から令和9年1月29日(金)まで

雨水浸透ますは、普通の雨水ますと違って、底と壁面に穴が開いています。ますの底と周りを砕石で囲んで、土がますにじかに触れないようにします。

雨水浸透ますを設置することによって、雨水を地中に浸み込みやすくなり、全ての雨水が一度に川に流れ込まず、浸み込んだ雨は、地下水や湧水となってゆっくりと川に到達します。これにより、浸水被害を軽減し、また、樹木の育成を助け、豊かな自然の回復に役立ちます。



次頁あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



助成対象者

処理区域内に、[雨水浸透施設設置基準](#)に適合する宅内雨水浸透ますを設置しようとする、当該建築物の所有者等(個人・法人)

助成対象

[「宅内雨水浸透ます設置検討確認書」](#)の条件を満たす宅内雨水浸透ます

助成金額

宅内雨水浸透ます1個当たり、および1件の助成金額は次のとおりです。

申請できる個数は排水設備(水洗便所改造)計画確認申請で確認された個数を上限とします。

ますの内径	助成金額		
	宅内雨水浸透ますを 新設する場合	既設ますを宅内雨水浸透 ますに付け替える場合	手続き経費等
φ150mm	15,000 円/個	28,000 円/個	50,000 円以内 (1件につき)
φ200mm 以上	18,000 円/個	31,000 円/個	

参考

申請前に、各助成制度のホームページで詳細をご確認ください。

[マンホールトイレ設置助成制度のご案内](#)



[雨水貯留タンク設置助成制度のご案内](#)



[宅内雨水浸透ます設置助成制度のご案内](#)



横浜市水環境キャラクター
かばのだいちゃん



お問い合わせ先

管路保全課長 米寿 Tel 045-671-2808



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

